学校整理番号(115)

植物管理科　昼間部
フラワーデザインコース

２年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フラワー商品知識＆フラワービジネス					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	単位				
	2年	前期	2 単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	鈴木 博幸						
	実務経験	有	大手販売店のガーデン部門にて、スーパーグリーンアドバイザーとして勤務。園芸相談や講習会を実施。				
授業概要	・植物の生育は、その時々の環境に応じて生育方法を変化対応させていかなければ十分ではない。状況変化に応じた正しい知識＆技術手法を身につけ、活用できるレベルに引き上げる。 ・季節、事象に応じた植物毎の生育方法の基礎を身につける。（園芸店に於ける季節毎の商品提供方法、管理手法のハウツー学習）					授業形式	講義
到達目標	・植物の育成方法について、各自が「人にアドバイス出来るレベルになる」を目指す。						
教科書・教材・服装等	・授業内配布プリント他						

授業計画	授業内容
1~2	園芸に携わる仕事の意義－＞植物を通じて癒しを醸成し、人との対話が生まれる(基礎知識の把握と向上)
3～4	植物を通じて地球環境の変化にどのように対応するか。京都議定書とはCOPとは。ワシントン条約
5～6	季節に応じた販売店、販売員の売り場作り→事実に基づき検討する
7～8	春季にみる「ガーデン＆グリーンの展開方法」3～5月の展開植物と育成手法の注意点の理解
9～10	春～夏に向けての接客ポイント（日々の手入れ、病害虫対策）、秋～冬にみる接客ポイント
11～12	3～5月の育成植物の手入れ方法
13～14	顧客満足度とは？お客様が満足しなければあらゆる商売は成り立たない
15～16	植物に係る病害虫とは。（発見、原因、予防、対応）
17～18	家庭園芸用薬品の種類とその活用方法の理解と実践
19～20	雑草対策→どんな場所のどのような雑草を枯らしたいのか？どんな薬剤を使ってどのように駆除するか
21～22	園芸の基本アドバイス→①耐寒性と耐暑性、②日向植物と日陰植物、③原生地と原産地、④世界と日本の気温型
23～24	園芸学による植物の分類法→一回結実性植物を含め、14種に分類される植物の各々について
25～26	植物の発芽、萌芽について。栄養成長と生殖生長とは。光周性の性質とは
27～28	植物栽培に不可欠なものとは→栽培用土と育成肥料（肥料の3大要素）と日照りと水やり

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90%以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率90%以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80%以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フラワーショップビジネス２					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	7 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	7 単位				
担当講師	杉浦 幸雄						
	実務経験	有	オランダウェラントカレッジ認定講師。現在も花材協会や市場にて技術指導を行っている。				
授業概要	他にはない実践的なフラワーショップをオープンさせ、主任以上のノウハウを、知識実力共に１年間で身につけさせる。					授業形式	演習
到達目標	大テーマ ～ お花屋さんが真似したくなるお花屋さん ～ 原価売価計算・粗利計算・商品企画・POP作りなど、即実践＋ と言う内容が目標						
教科書・教材・服装等	私物作成資料・実習授業服装（ショップを運営しに日はエプロン着用）						

授業計画	授業内容
1~4	オリエンテーション・授業進行について・ショップテーマ等決める。
5~8	２グループに分かれる。商品アイテム考案・企画書や、資料作成のフォーマット作成。
9~12	２グループ 商品サンプル作品作成・DM作成・使用資材等発注
13~16	２グループ 商品サンプル作品作成・プレゼン書作成。営業記録フォーマット作成。
17~20	２グループ 商品サンプル作品・HOWTO資料・POPボード・長柄剪定指示書作成 プレゼン練習。
21~24	プレゼンテーション発表・翌週シミュレーション準備
25~28	オープン①。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
29~32	オープン②。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
33~36	オープン③。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
37~40	オープン④。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
41~44	オープン⑤。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。後期内容考案。プレゼン書作成
45~48	オープン⑥。2グループに分かれ行う。初オーダー作成。コンセプトに沿った商品作りを行う。後期内容考案。プレゼン書作成
49~52	プレゼンテーション発表・後期授業準備
53~56	後期ショップオープン準備等
57~60	オープン①。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
61~64	オープン②。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
65~68	オープン③。2グループに分かれ行う。オーダー作成。コンセプトに沿った商品作りを行う。
69~72	クリスマスリース作成・ドライ商品考案
73~76	オープン④。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
77~80	注連飾り作成・ドライ商品考案
81~84	注連飾り作成・ドライ商品考案
85~88	オープン⑤。2グループに分かれ行う。オーダー作成。コンセプトに沿った商品作り、クリスマスを意識する。
89~92	オープン⑥。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作り、正月を意識する。
93~96	オープン⑦。2グループに分かれ行う。オーダー作成。コンセプトに沿った商品作り、正月を意識する。
97~100	筆記試験・お礼花束考案・最終後期商品資材選定を行う
101~104	オープン⑧。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作りを行う。
105~108	オープン⑨。2グループに分かれ行う。オーダー作成。コンセプトに沿った商品作りを行う。
109~112	オープン⑩。2グループに分かれ行う。コンセプトに沿った商品作り。お礼花束作成。

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト又は実技試験			
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			全て授業内に実施

成績評価基準	A評価	出席率90％・定期試験や小テスト80点以上・平常点 優れている・実技試験 優
	B評価	出席率70％以上・定期試験や小テスト70点以上・平常点 普通・実技試験 良
	C評価	出席率60％以上・定期試験や小テスト60点以上・平常点 やや劣る・実技試験 可
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

2025シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	植物造形理論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	10 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	10 単位		
		通年	単位				
担当講師	橋口 学						
	実務経験	有	ドイツでの生花店勤務経験有り。日本でも生花店を経営。現在は講師として、花店経営者、従業員、レッスン講師などを対象としている。				
授業概要	ドイツのフローリスト植物造形理論を、作品制作をしながら学習します。 植物造形理論の２つの要点は、①私たちの材料である「植物」について芸術的な観点から分析をしてその特性を知り、お客様の要望や作品のテーマに合わせたデザイン、組み合わせを選択できる。②美しいもの、調和のとれたものを作るための長い歴史の中で編み出された造形学、規則やルール、その方法を知ることです。造形理論を知ることによって、自分の制作した作品を客観的に理解する＜テーマへの適応、構成や材料の選択の意味など＞ことが可能となります。 長柄の自然の材料を使用し、本来の植物材料による造形に携わることは、将来のフローリストとしての仕事、作品制作、フローリストとしての意識に大きな影響を与えるものと考えます。					授業形式	演習
到達目標	●「材料である植物は自然にあり、私たちと同じ生き物としての美しさを持っていることを自覚し、それを使って仕事をすることへの喜びを持ちながら、人々の生活や文化に貢献する」というフローリストの意義を感じ取る ●造形に必要な基本理論を理解し、実践をしながら体得していく ●材料採取による、より現実的な材料観察の経験を積み、専門家としてのフローリストの感覚を磨く ●制作した作品、商品に対して、専門的なプレゼンテーションができる						
教科書・教材・服装等	配布プリント・制作に必要な道具類・材料採取、制作に適した服装						

授業計画	授業内容
1~6	「植物造形導入・自然観察」　自然散策・一種類の植物を活け、スケッチ・その特性を考える
7~12	「造形の文法」　アレンジメント＜自然から受ける印象を表現する＞
13~18	「造形の文法・植生的な表現」　Ar.＜アシンメトリー・１生長点・植生的＞
19~24	「造形の文法・材料の特性研究－主張」　Ar.＜アシンメトリー・複数生長点・植生的＞
25~30	「材料の特性研究－個性・テーマを持った造形の進め方」Ar.＜主題となる植物の個性をテーマとする＞
31~36	「材料の特性研究－動き」「プロポーション概論と実践」　Ar.＜線と空間を表す表現＞
37~42	「花束概論と実践」　Bq＜コンパクトな輪郭を持つ花束＞
43~48	「花束概論と実践２」Bq＜高低差のある花束＞
49~54	「材料の特性－表面構造」Kr.＜決まった質感を強調したアレンジメント＞
55~60	「材料の特性－表面構造・グルーピング」　Kr.＜決まったグルーピングで構成する挿すリース＞
61~66	「色彩学１」色彩学習＜絵画の分析・色による表現、アクリル絵の具使用＞
67~72	「色彩学２」　Ar./Bq.＜植物の色でテーマを表現する＞
73~78	「フォームを使わないアレンジメント」　Ar.＜花留めとしての構造物＋花＞
79~84	「構造物を使った花束」　St.＜構造物＋花＞
85~90	「フリーデザインの考え方」　Ar.＜テーマを設定しオリジナリティーのある作品制作・花留め使用＞
91~96	「アドベント概論と実践」　St.＜キャンドルを使った花束＞
97~102	「リースについて」　Kr.＜巻くテクニック、アドベントドアリース＞
103~108	「ストラクチャー・立体造形」　空間＜枝によるストラクチャー＋試験管＞
109~114	「ストラクチャー・立体造形」　Ob.＜自然の中のオブジェ＞
115~120	「同調と対比」　Ar.＜同調または対比してみせる構成＞ パラレル・交差
121~126	「並び方・作品の中のリズム」　Ar.＜テーブルデザインとして＞
127~132	「フリーデザイン・２」　Ar.＜テーマを設定しオリジナリティーのある作品制作＞：次回の予告
133~138	「空間デザイン」計画・制作・授業内定期試験
139~144	「空間デザイン」制作・プレゼンテーション・授業内定期試験
145~150	「花嫁の花飾り」花嫁を想定して花嫁のブーケを制作
151~156	「花嫁の花飾り」花嫁を想定して花嫁のヘア/ボディーオーナメントを制作・プレゼンテーション
157~162	自然観察・様式学

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験（授業内）
	・定期試験や小テスト		○	実技試験（授業内）
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フラワー装飾技能士対策					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2　単位
		通年	単位				
	2年	前期	2　単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	有薗 直美・野田　誠						
	実務経験	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、国家資格1級フラワー装飾技能士、職業訓練指導員。国家試験合格の為のスキルや技術を指導することができる。				
授業概要	3年連続生徒全員が合格。国家資格である３級フラワー装飾技能試験の内容を理解する。リボンワーク、花束、アレンジメント、ブートニアを決められた時間内で作成できるよう指導。また、花の歴史や知識、道具や資材の取扱いについて等の筆記試験問題の指導。その中で、今後の就職先でも通用する細かい技術やテクニックを指導し、国家試験3級試験に合格できる技術や知識を身につける。今年度は、一年生と合同授業になる。					授業形式	演習
到達目標	全員合格						
教科書・教材・服装等	3級フラワー装飾実技試験問題、3級フラワー装飾筆記試験問題						
授業計画							
1～3	講師の自己紹介、国家資格取得の意味、リボンワーク						
4～6	リボンワーク、ブートニアの作成						
7～9	検定試験筆記問題						
10～12	リボンワーク、花束作成						
13～15	リボンワーク、花束作成						
16～18	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成						
19～21	リボンワーク、ブートニア作成、検定試験筆記問題						
22～24	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成						
25～27	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成						
28～30	リボンワーク・ブート、検定試験筆記問題						
31～33	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成						
34～36	リボンワーク・花束作成・アレンジメント作成、検定試験筆記問題						
37～39	リボンワーク、花束作成、アレンジ作成、ブートニア作成(タイムトライアル)						
成績評価方法	・出席率			定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト					実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている					
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	JIFD実習2					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	5 単位				
担当講師	小松 弥生						
	実務経験	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、豊富な実務経験と知識で高度な技術を、時代とニーズにあった指導をすることができる。				
授業概要	2年生では、ヨーロピアンデザイン理論をもとに発展的な表現方法を学ぶ。 デザインの基礎を踏まえながら、総合的に幅広いデザイン知識を学ぶ					授業形式	実習
到達目標	フラワーデザイン理論に基づいた花の取り扱い、テーマに合わせたデザインを考え、適する花、器を選択し、表現力豊かに植物をデザインする技術を学ぶ						
教科書・教材・服装等	JIFDテキスト						

授業計画	授業内容
1~6	ヨーロピアンデザインとアメリカンスタイル
7~12	グルーピングとミキシング　リズミカル
13~18	特殊構成理論　/ 自然的構成(共同形態)
19~24	特殊構成理論　/ 自然的構成(1生長点)
25~30	一般造形理論　/ 装飾的構成①(パラレル)
31~36	一般造形理論　/ 自然的構成②(パラレル３つのグループ)
37~42	一般造形理論　/ 装飾的構成(複数焦点)
43~48	一般造形理論　/自然的構成(複数点交差3つのグループ)
49~54	一般造形理論　/自然的構成(複数点)
55~60	一般造形理論　段づけされた花束
61~66	一般造形理論　新古典主義①　クラシック
67~72	一般造形理論　新古典主義②　クラシック
73~78	一般造形理論　前期復習①
79~84	一般造形理論　前期復習②
85~90	一般造形理論　構造的構成① テクスチャー
91~96	一般造形理論　構造的構成②
97~102	一般造形理論　ストラクチャーの花束
103~108	一般造形理論　巻かれたもの(構造的構成)
109~114	一般造形理論　フリーセント①
115~120	一般造形理論　フリーセント②
121~126	一般造形理論　ブライダルブーケ(流れるブーケ)
127~132	一般造形理論　フォーマルリニア
133~138	一般造形理論　ヨーロピアン総復習
139~144	一般造形理論　ヨーロピアン総復習
145~150	JIFD試験対策（トラディショナル）
151~156	JIFD試験対策（花束）
157~162	JIFD試験対策（ブライダルブーケ）
163~168	JIFD試験対策　総合対策

成績評価方法	・出席率		筆記試験
	・実技試験	○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		実施しない
定期試験			

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・実技試験90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・実技試験75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率60％以上・実技試験50～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フューネラル専科					必修・選択必修の別	選択必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1　単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	1　単位		
		通年	単位				
担当講師	菊地大　小松弥生						
	実務経験	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、フューネラルの業務に属し、実際の現場をこなす講師による指導を行う。				
授業概要	フューネラル事業は今や花業界では大きな産業となる部門であり、そこに対する技術は非常に重要な状況にある。そのような中で、基本となる知識、現状を踏まえ、必要とされるデザインや考え方をしっかりと身に着けていく。特にライン的デザイン（造形的デザイン）を中心としての確立に努め自信の持てるデザイナー育成を目指す。					授業形式	実習
到達目標	知識の習得とライン的デザイン（造形的デザイン）の習得						
教科書・教材・服装等	配布プリント						
授業計画							
1～3	葬儀と祭壇の歴史・必要性　祭壇と装花の一般知識、生花祭壇の基礎知識						
4～6	造形的デザイン①遺影のデザイン						
7～9	造形的デザイン②左右対称のデザイン						
10～12	造形的デザイン③ライン系のデザイン初級（並列1）						
13～15	造形的デザイン④ライン系のデザイン初級（並列2）						
16～18	造形的デザイン⑤ライン系のデザイン初級（R並列1）						
19～21	造形的デザイン⑥ライン系のデザイン初級（R並列2）						
22～24	装飾的デザイン①植生的デザイン中級1						
25～27	装飾的デザイン②植生的デザイン中級2						
28～30	造形的デザイン⑦ライン系のデザイン中級（グラデーション1）						
31～33	造形的デザイン⑧ライン系のデザイン中級（グラデーション2）						
34～36	造形的デザイン⑨ライン系のデザイン中級（左右非対称1）						
37～39	造形的デザイン⑩ライン系のデザイン中級（左右対称2）						
40～42	造形的+装飾的デザイン⑪ライン系のデザインに装飾的デザインを組み込んだスタイル						
43～45	総復習						
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験	
	・実技試験				○	実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている					
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通					
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	ブライダル専科					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	3 単位
		通年	単位				
	2年	前期	3 単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	南木 智子						
	実務経験	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、豊富な実務経験と知識で高度な技術を、時代とニーズにあった指導をすることができる。				
授業概要	ブライダルフラワーの知識と技術を身につける。					授業形式	実習
到達目標	豊富な花の知識を学び　花装飾の技術、打ち合わせ等、プロとしてのスキルを習得する。卒業後第一線で活躍するフローリストの育成。						
教科書・教材・服装等	配布プリント						

授業計画	授業内容
1～6	ブライダル業務の基礎知識とフローリストの役割　花束とブーケの制作
7~12	ブライダルフラワーの基礎知識と心得　空間演出と会場装花の基本スタイル　装花制作
13~18	挙式と披露宴のスタイルに合わせたコーディネート　制作
19~24	披露宴会場のデザインを構想する。スタイル別のコーデイネート　制作
25~30	ブライダルフラワーの制作　メインテーブル　ゲストテーブルの種類　制作
31~36	カウンセリングと打ち合わせの進め方と予算の提案方法　身嗜み接客の基本　提案方法　デザイン制作
37~42	ブライダルフラワービジネスの知識　結婚式までの花の準備　発注　仕入れ　開花調整　制作　納品　撤去
43~48	結婚式当日、現場業務と動き方　マナーと身だしなみ
49~54	新郎新婦の身に着ける装花　列席者の身に着ける装花
55~60	新郎新婦の身に着ける装花　列席者の身に着ける装花
61~66	スタイル別グループ制作
67~72	総合復習
73~78	総合復習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・実技試験90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・実技試験75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率60％以上・実技試験60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	フローリスト実践					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	1 単位		
		通年	単位				
担当講師	小松 弥生						
	実務経験	有	一般社団法人JIFD日本フローラルデザイナー協会所属、豊富な実務経験と知識で高度な技術を、時代とニーズにあった指導をすることができる。				
授業概要	花の現場で実践的に必要な商品を学習する。デザインだけではなく、接客からの商品制作の実践学習や、大型のお祝い、大型のお悔みを学ぶ。またそれらに必要な備品札書き等花屋で必ず必要となる知識を学習する。					授業形式	実習
到達目標	業界において即戦力となるフローリストの育成、作業、デザインのみならず接客対応、提案力等の技術以外においても第一線での即戦力となれる人材の育成を図る。						
教科書・教材・服装等	フローリストナイフ、ハサミ、作業着						

授業計画	授業内容
1~3	フローリストの心得　基礎編 原価率・利益率
4~6	フローリスト実務　祝札・弔札の記載方法
7~9	フローリスト実務　テーマにあった商品提案①（アレンジメント）
10~12	フローリスト実務　テーマにあった商品提案②（アレンジメント）
13~15	フローリスト実務　テーマにあった商品提案③（花束編）
16~18	フローリスト実務　テーマにあった商品提案④（花束編）
19~21	フローリスト実務　大型アレンジメント
22~24	フローリスト実務　大型贈呈用花束
25~27	フローリスト実務　大型スタンド（祝）
28~30	フローリスト実務　接客実習
31~33	フローリスト実務　接客実習
34~36	フローリスト実務　接客実習
37~39	フローリスト実務　接客実習
40~42	フローリスト実務　総合復習
43~45	フローリスト実務　総合復習②

成績評価方法	・出席率	定期試験	筆記試験
	・実技試験		実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）	○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・実技試験90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・実技試験75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率60％以上・実技試験60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理学科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	ガーデン栽培実習２						必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	単位				
	2年	前期	2 単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	橋立和子						
	実務経験	無					
授業概要	ハーブ＆ローズの活用法・人々の生活がハーブとどのようにかかわりを持ってきたか					授業形式	実習
到達目標	バラの歴史・バラが健康に育つ為にほんの少し手助けをすることで見事な花を咲かせる方法 ハーブを用いて自分のアイデアを生かして生活の中に取り入れる。						
教科書・教材・服装等	バラ　プリント・実技・とげがささらない様な服装 ハーブ　教科書・実技						

授業計画	授業内容
1 ～ 6	・ハーブと人との関わり　・バラ月別年間の手入れ
7 ～ 12	・バラ1番花の花ガラ摘み　・ローズガーデンの手入れ　・ハーブガーデンの手入れ
13 ～ 18	・バラ・シュート処理　・病害虫の防除　・ハーブガーデンの説明　・苗の植え付け
19 ～ 24	・花ガラ摘み（バラ）　・除草　・施肥　・ハーブガーデンの手入れ　・ハーブティーの入れ方
25 ～ 30	2番花の花ガラ摘み・シュート処理・ハーブクラフト押し花作り
31 ～ 36	・バラの病害虫の防除・除草。ハーブクラフトラベンダーバンドルズ作り
37 ～ 42	・梅雨対策・シュート処理・除草と清掃・鉢物の置き肥と液肥・ハーブクラフト作り
43 ～ 48	・台風対策(支柱を立てる・鉢物は移動する）・シュート処理
49 ～ 54	・病害虫の防除・暑さ対策　・ハーブを収穫してハーブウオーターの抽出【アランビック】
55 ～ 60	・バラにこまめな水やり・除草・　ハーブで虫よけ作り
61 ～ 66	日本のハーブ・有毒ハーブ・夏越し
67 ～ 72	・バラの夏の剪定・台風対策・シュート処理
73 ～ 78	・バラの夏剪定・台風対策・こまめな水やり　・ハーブクラフト作り
79 ～ 84	・バラ夏の剪定・除草と清掃・施肥　・ハーブクラフト作り

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト		○	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科					コース名	フラワーデザインコース	
科目名	業界インターンシップ					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5	単位
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	5 単位			
		通年	単位					
担当講師	各企業様							
	実務経験	有	各企業現場指導者様					
授業概要	動物病院やペットショップ、動物関連施設にてインターンシップを行い、現場のサービスを学ぶ。					授業形式	実習	
到達目標	動物関連企業等で実践業務を学び、知識の向上を図る。							
教科書・教材・服装等	無し							
授業計画	授業内容							
1～150	各企業での施設の見学、各企業の接客ルールやマナーの習得。							
	店舗での実践的な実習。							
	３つの企業をそれぞれ７日間程度インターンシップを行う。							
成績評価方法	・企業担当者による勤務・業務管理を実習手帳上で行う			定期試験		筆記試験		
	・レポート提出					実技試験		
					○	実施しない		
成績評価基準	R評価	100時間以上のインターンシップ実績があること。実習手帳、レポートを提出した者						
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科					コース名	フラワーデザインコース	
科目名	パソコン					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位	
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	2 単位			
		通年	単位					
担当講師	中島 雅子							
	実務経験	有	MOS取得。パソコンインストラクターとしての実務経験は20年以上。					
授業概要	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせて実施する。					授業形式	講義	
到達目標	・Windowsの基本的な操作に慣れる。 ・ローマ字入力による文字入力を効率的で正確に行うことができる。 ・Microsoft WordとExcelの基本操作を理解し、実践できる。 ・情報モラルを守る姿勢を身に付ける。							
教科書・教材・服装等	・30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016（実教出版） ・USBメモリ							
授業計画	授業内容							
1	オリエンテーション：PC教室利用上の注意・授業内容及び評価の説明・アンケート							
	タイピング 基本トレーニング：PCの起動・ログイン方法・USBメモリの取扱い方・タイピング練習							
2	Windowsの基礎知識：IMEと日本語入力・タイピング練習							
	Word 基本１：ファイルの基本操作を覚える・効率よい入力方法・タイピング練習							
3~4	Word 基本２：効率よく入力する（様々な文字の種類・記号の入力など）							
5	Word 文書作成：編集の手順・編集作業・ページ設定など							
6	Word 表現力をアップする：画像・イラスト・図形などの挿入とレイアウト							
7	Word 表の作成：罫線とは・書式設定・レイアウト・様々な表を作ってみる							
8	Word 書式応用：書式設定を使いこなす・自由なレイアウトの文書作成・ページ設定							
9~10	Wordで学ぶ著作権：ネット社会と正しい著作権を知る							
	Word まとめ：総復習の到達度テスト実施、自由作成課題を仕上げる、著作権を考える							
11	Excel 基本１：基本操作を覚えよう・データを効率的に入力する・セルの書式設定							
12	Excel 基本２：基本操作のまとめ・印刷設定・ページレイアウトの役割を知る							
13	Excel 数式と関数：四則演算・連続データ・表示形式など							
14	Excel データベース：リストとは(顧客名簿と入力規則)・大きなデータの表の扱い方							
15	Excel グラフ：グラフ作成する・グラフの構成要素・グラフをカスタマイズする							
	Excel まとめ：総復習							
成績評価方法	・出席率			定期試験		筆記試験		
	・到達度テスト					実技試験		
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）				○	実施しない		
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・到達度テスト80%以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率80%以上・到達度テスト70%以上・平常点 普通						
	C評価	出席率80%以上・到達度テスト60%以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

2025就職ガイドシラバス（授業計画）

学科名	植物管理科					コース名	フラワーデザインコース	
科目名	就職ガイド２					必修・選択必修の別	必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位	
		通年	単位					
	2年	前期	1 単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	津島 幸織							
	実務経験	無						
授業概要	動植物業界で求められる人材の育成。企業インターンシップや就職活動での必要な知識を身につけ内定へと繋げる。					授業形式	講義	
到達目標	自己分析と企業研究を行い、全員が内定を頂ける様にしていく事を目標とする。							
教科書・教材・服装等								

授業計画	授業内容
1	就職室の紹介/就職活動に向けて（内定スケジュール）
2	履歴書の復習(自己PR・志望動機)・採用試験の流れ・夏季ISについて
3	メールの送り方
4	企業説明会①
5	企業説明会②
6	求人情報の紹介
7	IS事前準備①
8	ISを依頼する際の電話の掛け方・ロールプレイング
9	面接対策
10	IS事前準備②（実施確認書と注意点）
11	夏休み中の就活の取り組み方
12	お礼状・送付状の作り方
13	IS心構えとフィールドワーク・レポート提出

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・期末レポート提出			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない
成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている		
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合		

シラバス（授業計画）

学科名	植物管理科				コース名	フラワーデザインコース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	1 単位				
担当講師	津島 幸織						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	２年次の学校生活について①
2~3	学校行事についてのディスカッション①
4~5	学校行事についてのディスカッション②
6~7	学校行事についてのディスカッション③
8~9	学校行事についてのディスカッション④
10~11	学校行事についてのディスカッション⑤
12~13	学校行事についてのディスカッション⑥
14~15	学校行事についてのディスカッション⑦
16~17	学校行事についてのディスカッション⑧
18~19	学校行事についてのディスカッション⑨
20~21	学校行事についてのディスカッション⑩
22~23	学校行事についてのディスカッション⑪
24~25	学校行事についてのディスカッション⑫
26	学校行事についてのディスカッション⑬
27	学校行事についてのディスカッション⑭

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80％以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合